

## 日塗工業況観測アンケート3月の結果・前年同月比はプラス、前々年

### 同月比はマイナス

- 公開日時: 水曜日 - 28 4 月 2021

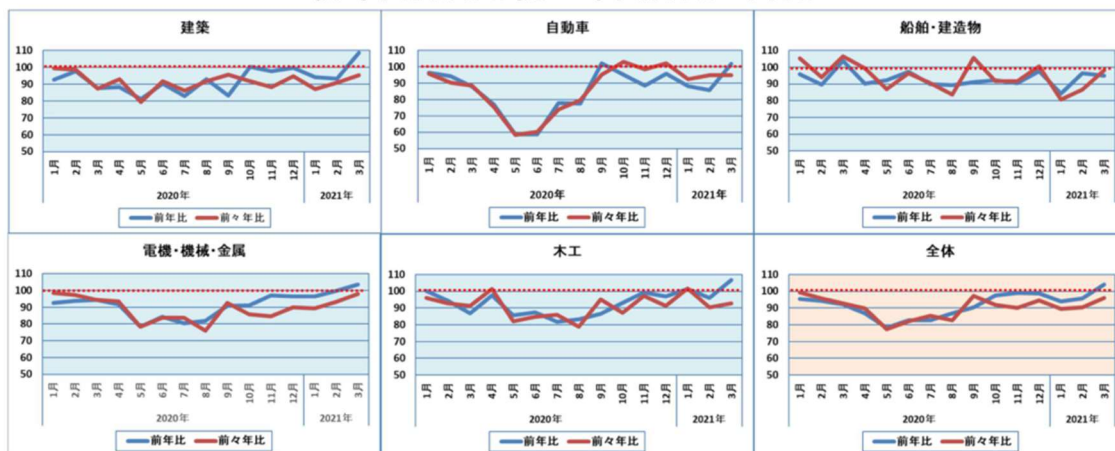
昨日、日塗工から 2021 年3月度の業況観測アンケートの結果を受領し、組合員様には本日 FAX でお知らせしています。

3 月分の調査結果ですが、全体では 2 月に比べ前年同月比(金額)で 8.2 ポイントと大幅に上昇しました。ただし、前年 3 月は全体に需要低迷が続き、用途別全体の前年同月比が 92.3 でありましたので、前々年比では、96 付近の値となります。以下に昨年3月からの各需要分野別前年同月比(金額)の一覧表を示します。

前年同月比 金額	建築外装	自動車	船舶・ 構造物	電機・機 械・金属	木工	全体		
2020年	3月	87.7	88.4	103.7	94.5	86.8	92.3	
	4月	88.3	75.5	90.2	91.6	97.4	86.7	
	5月	81.1	58.4	92.1	78.5	85.5	78.3	
	6月	90.4	60.3	97.3	84.3	87.3	82.6	
	7月	83.0	73.9	89.8	80.3	81.9	82.8	
	8月	92.9	79.8	89.3	82.0	83.2	86.8	
	9月	83.3	95.2	91.0	90.8	86.4	90.3	
	10月	100.2	103.1	92.2	91.2	93.1	97.4	
	11月	97.6	98.4	90.5	96.9	99.2	98.9	
	12月	99.8	102.0	97.6	96.4	97.0	98.7	
	2021年	1月	94.0	92.3	84.2	96.5	101.5	93.8
		2月	93.1	94.9	96.5	99.6	95.9	95.8
3月		108.5	101.8	94.8	103.6	106.8	104.0	
3月前々年比		95.2	90.0	98.3	97.9	92.7	96.0	

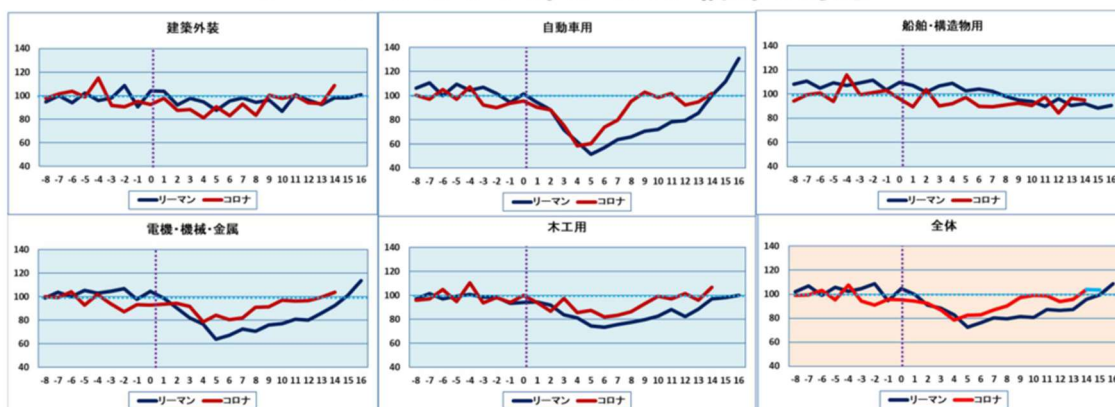
前年同月比(金額)では、船舶・構造物を除き 100 を超えましたが、前々年同月比ではいずれも 100 を下回っています。前年同月比は、その前年10月の消費税増税の影響と拡大を始めた感染症のため、全体の前年同月比(金額)が 92.3 と低迷していました。このため、前年同月比では 100 を上回りながら、前々年同月比では 100 を下回るという現象がみられています。来月以降は前年の前年同月比がさらに悪化しますので、前年比と前々年比の格差はさらに拡大するものと思われます。下に、昨年 1 月以降の各需要分野における金額の前年同月比と前々年同月比を示します。

## 前年同月比と前々年同月比の対比



昨年9月ころまでは前年同月比と前々年同月比はほぼ同じような値ですが、10月以降は少し乖離が出始めています。来月以降はさらに乖離するものと思われるので注意してみたいと思っています。最後にずっとご紹介しているリーマンショック時とコロナ禍の対比です。

## リーマンショック時とコロナ禍時の対比



リーマン時 2008年9月を0とし、前8か月 後16か月 } の前年比(金額)を图示  
 コロナ時(今回) 2020年1月を0とし、前8か月、後14ヶ月 }

コロナ禍の需要はリーマンショック時に比べれば落ち込みが軽度と言ってきましたが、ここへきて前年同期比の差はなくなりつつあります。基点(リーマン:2008年9月、コロナ:2020年1月)から12か月を経過し、ここからリーマンショック時は大幅に前年同期比が改善されていきました。昨年の4-6月は大幅に需要が落ち込んだ時期にあたりますので、普通であれば今年の4-6月の前年同期比は大幅プラスになるはずですが、それもこれもワクチン接種も含めた感染症の行く末にかかっていると言えるでしょう。